



## 新年のご挨拶

日本銀行 甲府支店 支店長 **水野裕央**

新春を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症により、経済・社会は大きな

打撃を受けました。多くの尊い命が失われたほか、観光・飲食業などの対面型サービス業を中心に、厳しい状況を強いられました。

この間、感染症の最前線に対応された医療機関・保健所など、経済・社会を支えた方への敬意と感謝が絶えない1年でもありました。

今年も、しばらくは辛抱の時期が続くと思われませんが、英国でワクチンの接種開始という朗報もあります。先行き、感染症の影響が徐々に和らいでいくもとで、緩和的な金融環境や政府の経済対策の効果にも支えられて、緩やかな改善基調を辿るとみられます。また、当地では、武田信玄公生誕500年の記念の年で、地域の活性化が期待されるほか、中部横断自動車道の下部温泉早川ICと南部IC間の開通により、山梨・静岡の連携・

交流が一層高まることと思います。

長い目では、地域経済を取り巻く環境は、SDGsに対する社会的要請の高まり、デジタル・トランスフォーメーションや働き方改革の加速などにより、大きく変化しつつあり、これらへの対応も重要です。

既に、県主導で、水素・燃料電池分野の研究機関の集積地としての準備が進められています。また、2拠点居住、移住の支援を県が強化する中、首都圏に近く、交通の利便性が高い立地上の利点から、自然豊かな場所でのワーケーションの動きも見られ始めています。何れも、変化がチャンスになる可能性を秘めています。

最後に、新技術の発明、ヒット商品の開発、新規事業への転換などの成功の裏には、難しい課題を乗り越えた人々の知恵、挑戦、不断の努力があります。厳しい今だからこそ、課題克服の先には飛躍があると信じます。

皆様にとって、2021年が飛躍の年になることを祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。